

令和元年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料5-3

(センターの名称: 松林地区地域包括支援センター くるみ)

国評価 (3/31時点)		市評価 (3/31時点)	
○	×	○	×
44個	11個	10個	0個

地域包括 支援センター 自己評価	<p>茅ヶ崎市指標「市評価Q10」については所内書棚の転倒防止は設置済み、緊急時の持ち出しデータ(外付けハードディスク)の確認を行った。「市評価Q9」におけるマニュアル作成はできているが、更に台風・水害に関しての内容を含んだ行動計画を市と一緒に検討する必要がある。</p> <p>地域ケア会議は個別事例の検討は開催せず、ネットワーク構築機能をテーマにした内容としている。コーディネーター配置事業内で多くの個別事例が検討されており、包括センター内での共有や状況の報告等、地域ケア会議と同様の検討や連携が図ることができていると考える。自立支援型地域ケア会議を市と共催で開催しており、今後も継続していく予定。</p> <p>「国評価Q30」消費者被害に関して、民生委員に対しては他団体からの情報提供がされているため、くるみとしては、サロン等の地域住民や相談者に対して行った。</p>
------------------------	--



基幹型包括 ヒアリングの ポイント及び 結果	<p>【ヒアリング実施日】令和2年6月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、着実に事業を実施し、全体として目標を達成できている。 ・公民館との共催事業を継続的に開催する等、地域に根差した活動を行うことができている。 ・国評価について、地域ケア会議に関する項目は個別事例を取り扱わなかったことで×がついているが、地区ボランティアセンターとの意見交換を行う会議を2度開催する等、地域とのネットワーク構築に向けて取り組んでいる。 ・平成30年度からの懸案事項となっていた個人情報を持ち出す際の管理方法については、持ち出したことを確認するための書式を作成中であり、令和2年度中に運用を開始する予定となっている。
---------------------------------	---



推進委員会に、地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、報告し、意見徴収を行う。



茅ヶ崎市 総合評価	
--------------	--

* 市としての総合評価は、推進委員会の意見等を踏まえ、決定する。